

FMラジオ難聴地域解消に向けた中継局整備について

本市では、市民の皆さんへ災害等の各種情報を発信する手段として、平成24年から全世帯を対象に、緊急告知防災ラジオの貸与を行っている。昨年9月から、対象を一般世帯のみならず、事業者などにも広げるところです。

緊急告知防災ラジオを利用した災害情報の発信には、FMわかかしの放送電波を利用してはいますが、かねてから、「宗谷岬地区」と「東浦地区」が、地形上の理由で難聴地域となっていました。

この難聴地域を解消するため、昨年7月から両地区で中継局の整備を進め、昨年10月29日から試験放送を行っていました。電波調査が終了し、2月15日、中継局が開局となりました。この中継局が開局したことにより、本市におけるFMラジオの難聴地域が全て解消され、全市民に緊急告知防災ラジオから災害情報等を発信することが可能となりました。

全国各地で発生している大規模な自然災害を振り返っても、災害発生時には、

冷静かつ迅速な避難行動が求められます。市民の皆さんが、すぐに命を守る行動がとれるように、今後もち早く災害情報を発信するよう努めてまいります。

稚内市業務継続計画の策定について

近年、大雨や地震・台風、また、2月21日には、昨年9月の北海道胆振東部地震の余震と思われる地震が発生するなど、尊い命や財産などが失われる自然災害が多く発生しています。

大規模災害発生時に、市は、現地での災害対策の中心として、重要な役割を担っていることから、庁舎や職員が被災し、人・物・情報等、業務の遂行に制約を受けた場合でも、いち早く災害応急対策等、優先的に実施すべき業務を継続的に行わなければならない。これまでも本市では、「稚内市地域防災計画」により、災害発生時の応急対策や、復旧・復興対策を定め、「各マニュアル」により、具体的な手順を示しているところですが、より一層、業務の継続性を高めるため、1月に「稚内市業務継続計画」を策定しました。

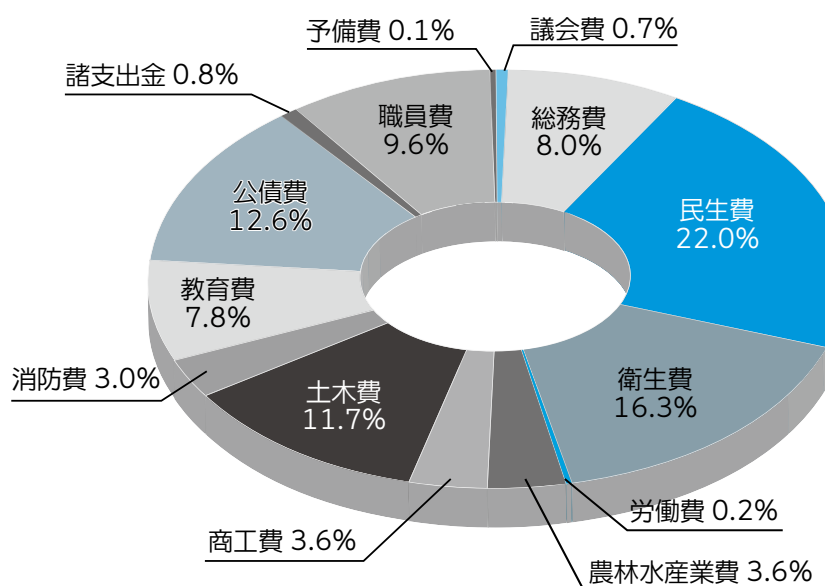
本計画の策定により、非常時において、優先して実施すべき業務が整理でき、市庁舎が被災するような大規模災害時にも機能不全に陥ることなく、適切かつ迅速に、非常時の優先業務を遂行できるものと考えています。



業・団体など多くの方々に本計画を説明させていただきました。

その際、まち全体の早期の復旧・復興を図るためには、市のみならず、各事業者においても同様の対応が必要なことや、官民の「業務継続計画」の共有について、ご理解とご協力をお願いしたところです。

平成31年度 当初予算(一般会計) 費目別割合



平成30年度3月補正予算

- 【一般会計】 6億 4,976万 4千円 追加
- 【特別会計】 1億 4,245万 5千円 追加
- 【企業会計】 2億 2,455万 2千円 減額
- 【補正総額】 5億 6,766万 7千円 追加

※一般会計、特別会計、企業会計を合わせた予算総額の前年度同期比は、4.3%の減額となります。

【一般会計補正予算の主な内容】

- 総務費 1億 464万 7千円
財政調整基金積立事業、プレミアム付商品券事業 ほか
- 民生費 2,051万 4千円
障害者自立支援給付事業、国民健康保険事業特別会計繰出金 ほか
- 農林水産業費 7億 1,757万 1千円
稚内第2地区道営草地整備事業、畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業 ほか
- 土木費 △ 2億 6,858万 1千円
緑・富岡環状通街路整備事業、稚内港改修国庫補助事業 ほか
- 教育費 1億 1,671万 1千円
稚内南小学校整備事業、水族館施設維持管理事業 ほか

平成31年度当初予算

- 【一般会計】 245億 6,500万円 (4.8%増)
 - 【特別会計】 72億 2,430万円 (2.9%増)
 - 【企業会計】 124億 5,100万円 (1.7%増)
 - 【総額】 442億 4,030万円 (3.6%増)
- ※()内は、前年同期比

平成31年度 当初予算(一般会計) 単位：千円

■ 議会費	162,791	■ 土木費	2,877,907
□ 総務費	1,959,229	■ 消防費	728,231
■ 民生費	5,394,576	□ 教育費	1,925,599
■ 衛生費	4,015,181	■ 公債費	3,091,282
■ 労働費	45,183	■ 諸支出金	200,000
■ 農林水産業費	890,465	■ 職員費	2,365,139
■ 商工費	889,417	■ 予備費	20,000